

2006年12月20日  
株式会社Qript

【各位】

**(株)Qriptがインスタントメッセージ(IM)に関するアンケート調査を実施**  
**10代後半の88.5%がIMを認知、50代も68.6%が認知**  
 ～リアルタイムなコミュニケーションツールとして、若年層を中心にIMが広く浸透～

企業向け携帯電話連動型インスタントメッセージ〔以下IM〕を開発・提供する株式会社Qript(クリプト)〔本社：大阪府中央区、代表取締役：渡邊君人〕は、全国の15歳から59歳の男女に対し、IMに関するアンケート調査を実施しました。

電話やEメールに次ぐコミュニケーションツールとして世界的に利用されているIMですが、今回の調査で主に以下のことが判明いたしました。

- ◆ 認知率(知っている、聞いたことがある)と使用経験率(使用している、使用したことがある)について10代後半(15～19歳)が最も高く、年齢層が高くなる毎に低くなり、50代が最も低くなっている(若高老低)。
- ◆ 全体の認知率は77.6%、使用経験率は38.5%。15歳～59歳までの日本国内の人口は7,602万7,000人(\*)であり、この数字と今回のアンケート結果から15歳～59歳までのIMの認知・使用経験率を算出すると、約5,899万人がIMを認知し、約2,927万人がIMの使用経験があると推測される。  
(\*)総務省統計局ウェブサイトより、2006年7月時点の人口
- ◆ 使用目的でもっとも多いのは、「友人とのコミュニケーションツールとして利用」。
- ◆ メリットとしては「相手とリアルタイムでコミュニケーションできる」「オンライン・オフラインがひと目でわかる」「メールや電話より確実に早い」などの点が挙げられた。
- ◆ 問題点としては「(フリーソフトのIMは)セキュリティ上のリスクがある」などの点が挙げられた。また「SPIM(IMを狙ったスパムメッセージ)が煩わしい」との声も寄せられ、日本国内でもSPIMが出回っていることが判明。

この結果から、若年層のIM認知・使用経験率が高く、「メールや電話より確実に早い」というメリットも評価され、今後はEメールを凌ぐコミュニケーションツールになる可能性があると予想されます。現在はフリーソフトのIMが多く利用されていますが、利用者からセキュリティに対するニーズが高く、その対策がされているIMが、今後は利用者から選ばれていくのではないかと考えられます。

＜調査概要＞

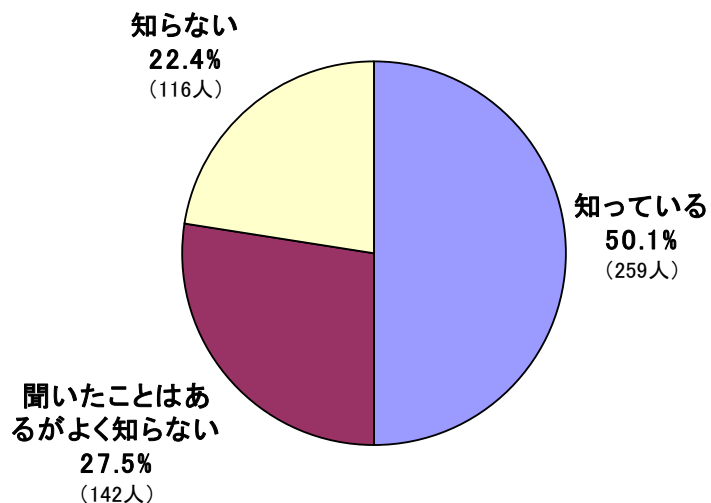
1. 調査名 : インスタントメッセージ(IM)に関するアンケート
2. 調査方法 : インターネットリサーチ
3. 調査期間 : 2006年12月6日(水)～7日(木)
4. 有効回答者数 : 517名
5. 男女内訳 : 男性44.3% 女性55.7%
6. 年代別構成※ : 15～19歳:10.1%、20歳代:25.0%、30歳代:25.0%、40歳代:25.0%、50歳代:15.1%  
※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計が100%になっておりません。

インスタントメッセージとは：

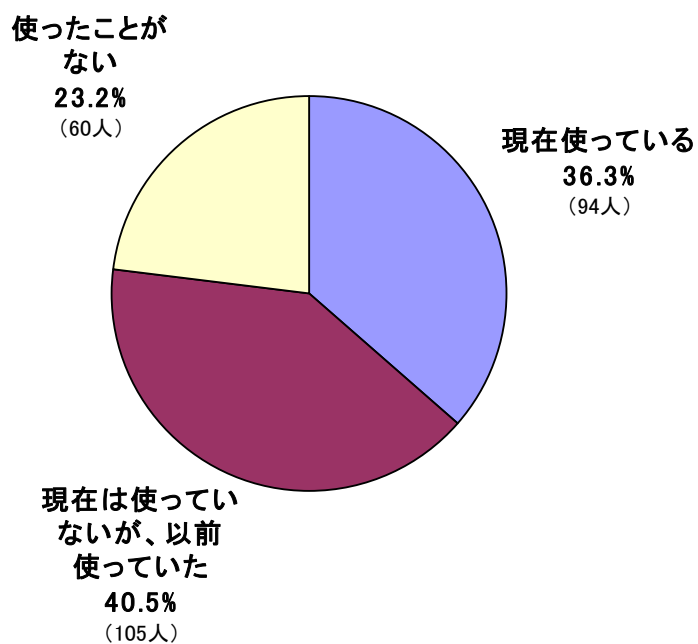
インターネット上で同じソフトを利用している仲間がオンラインかどうかを調べ、オンラインであればリアルタイムなテキストのやりとりやファイル転送などを行なうことができるアプリケーションソフト。「IM」「メッセージ」などとも呼ばれる。例：Yahoo!メッセージ、MSNメッセージ/Windows Liveメッセージなど

**[Q1] あなたはインスタントメッセージ(略称:IM)※を知っていますか? <ひとつだけ>**

対象者:517人

**[Q2] あなたはIMを使ったことがありますか? <ひとつだけ>**

対象者:[Q1]で「知っている」と回答した259人



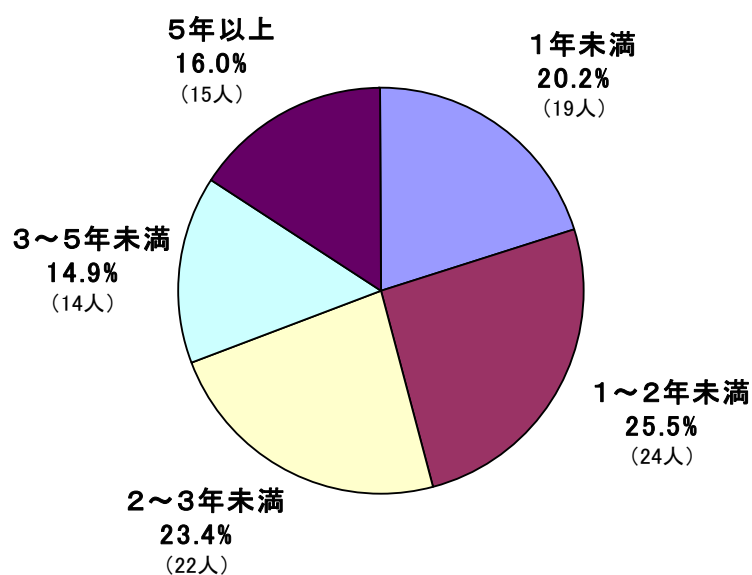
## 認知率と使用経験率

	IM認知率 (IMを知っている、聞いたことがある)	IM使用経験率 (IMを使用している、使用したことがある)
15～19 歳	88.5%	57.7%
20～29 歳	82.9%	55.0%
30～39 歳	76.7%	35.7%
40～49 歳	73.6%	26.4%
50～59 歳	69.2%	23.1%
全体	77.6%	38.5%

※小数点以下第二位を四捨五入

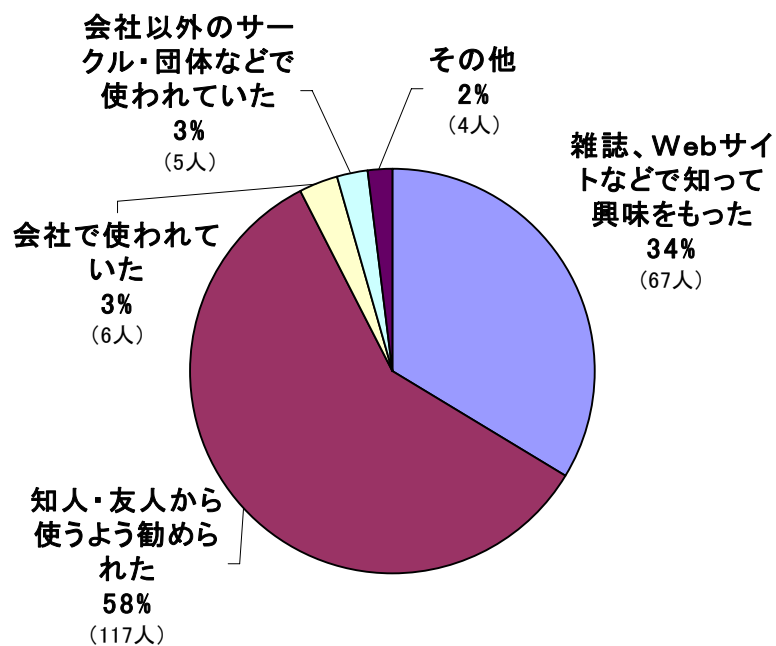
[Q3] 現在までの IM の使用期間を教えてください。〈ひとつだけ〉

対象者: [Q2] で「現在使っている」と回答した 94 人



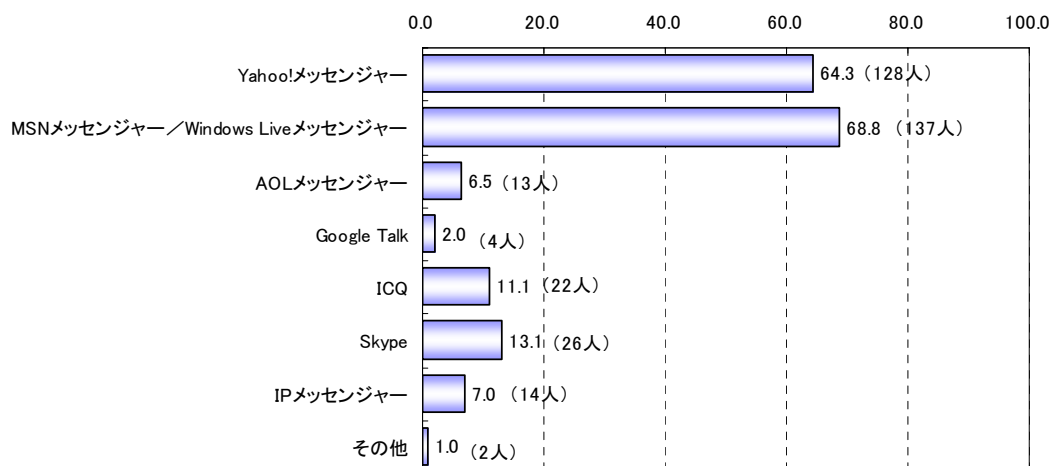
### [Q4] IM を使い始めたきっかけは何ですか？ <ひとつだけ>

対象者: [Q2] で「現在使っている」、「以前使っていた」と回答した使用経験のある 199 人



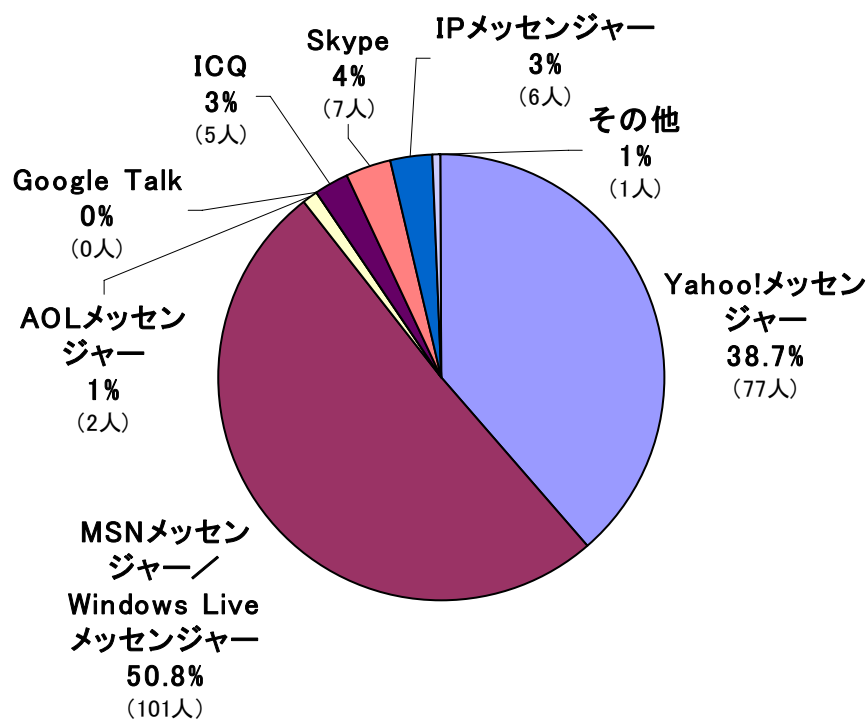
### [Q5] あなたが、使ったことのある IM をすべてお答えください。 <複数回答可>

対象者: 使用経験のある 199 人



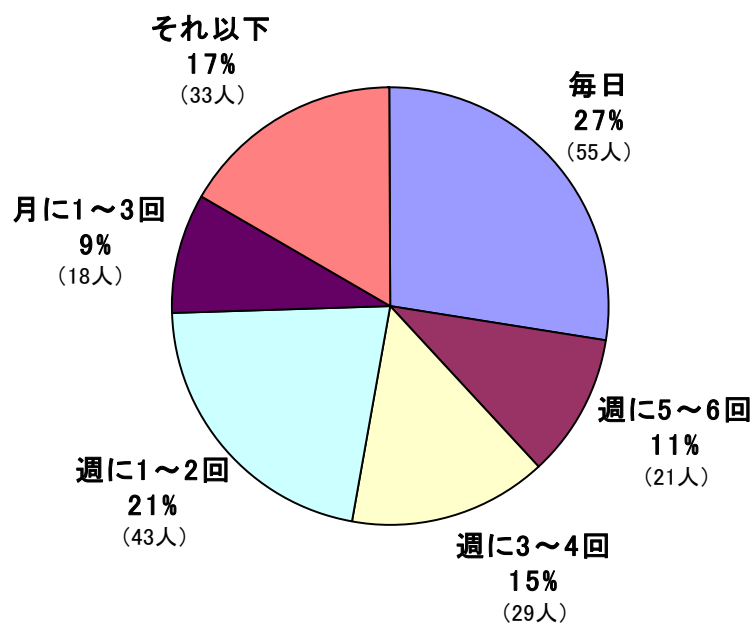
## [Q6] 最もよく使う(使っていた)IMをお答えください。&lt;ひとつだけ&gt;

対象者:使用経験のある 199 人



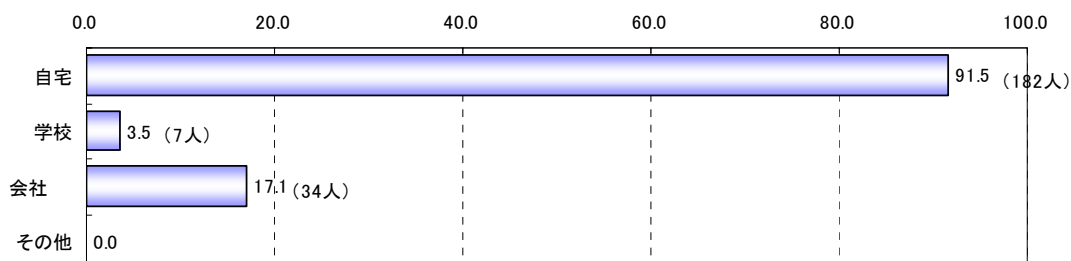
## [Q7] どのくらいの頻度でIMを使っていますか(使っていましたか)? &lt;ひとつだけ&gt;

対象者:使用経験のある 199 人

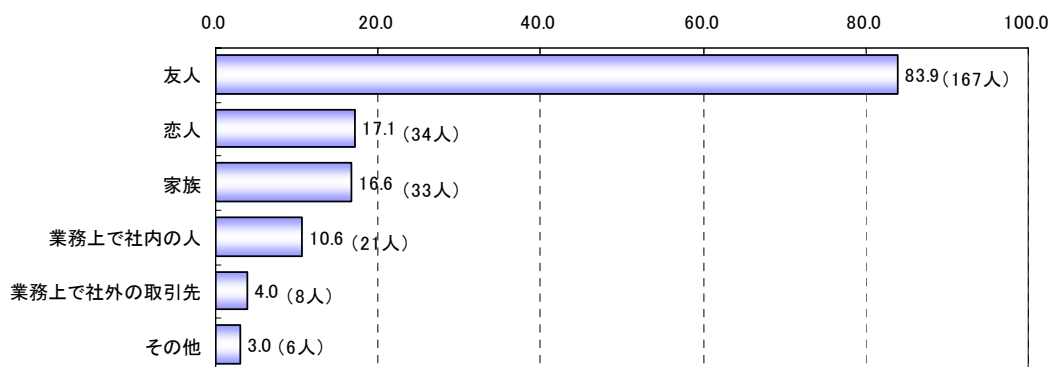


**[Q8] IMはどこで使いますか(使いましたか)? <複数回答可>**

対象者:使用経験のある 199 人

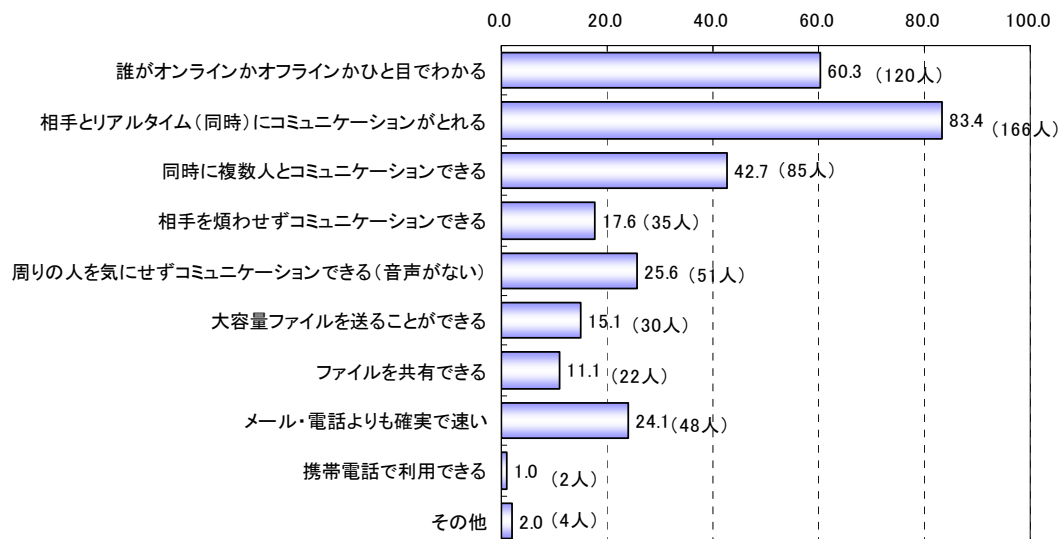
**[Q9] IMは誰とやりとりするために使いますか(使いましたか)? <複数回答可>**

対象者:使用経験のある 199 人



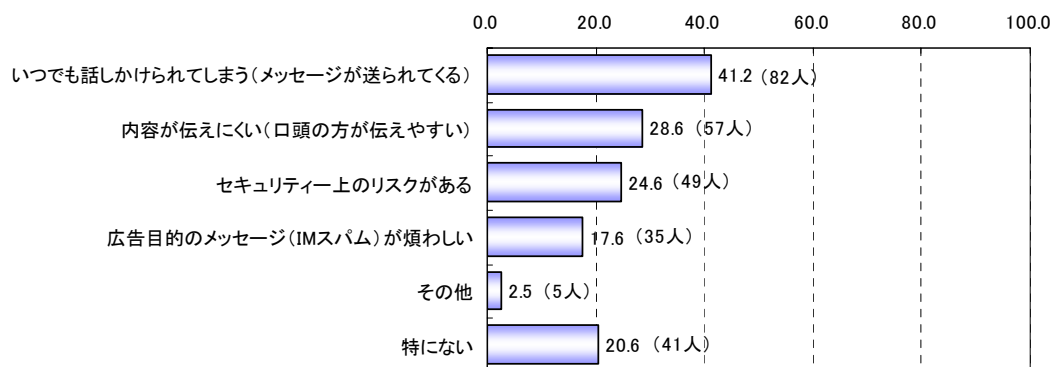
## [Q10] IM を使ってメリットに感じる部分はどこですか？ &lt;複数回答可&gt;

対象者：使用経験のある 199 人



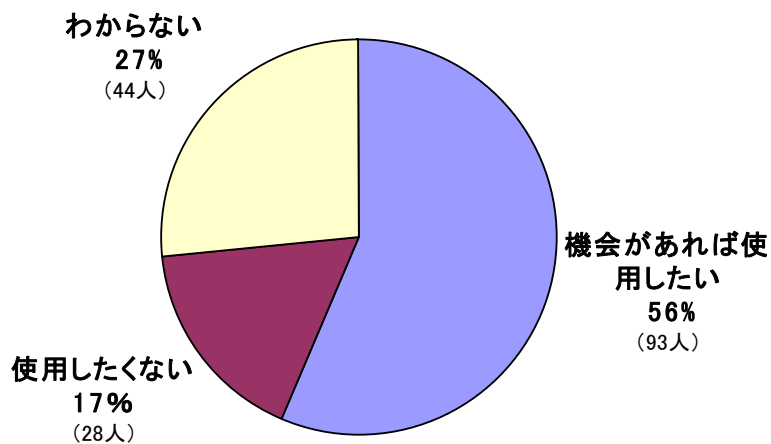
## [Q11] IM を使ってデメリットを感じる(感じた)部分はどこですか？ &lt;複数回答可&gt;

対象者：使用経験のある 199 人



**[Q12] 今後、IM を使用したいとお考えですか？ <ひとつだけ>**

対象者: [Q2] で「以前使っていた」、「使ったことがない」と回答した 165 人



&lt;次ページに続く&gt;

## [Q13] IM に期待すること(新しい機能など)をご自由にお書きください。

対象者:使用経験のある 199 人

安全性・管理性の向上を求める意見 (セキュリティ、スパム対策、ログ管理、利用者の限定、使用時間の管理など)	31 人
通信環境の向上を求める意見 (通信速度、画像通信、音質の向上など)	12 人
携帯電話・他の IM との融合を求める意見	10 人
不具合の改善を求める意見	4 人
その他 (絵文字・デザインの種類の増加、利用人口の増加、使いやすさの向上など)	23 人

## ◆自由回答を一部ご紹介します。

- ・セキュリティ機能の強化。スパムメールが多くなった。個人情報の流出を疑う。(会社員・事務系)
- ・安全性・匿名性。(会社員・技術系)
- ・スパム対策を強化して欲しい。(会社員・その他)
- ・過去ログ検索機能の強化。(パート・アルバイト)
- ・話しかけられたくない人を適宜設定したい。(専業主婦)
- ・知っている人のみで会話したい。プライバシーや自分達の会話を覗かれているようで不安。(専業主婦)
- ・高速回線を利用した、映像情報の強化。(公務員)
- ・画像もファイルもすばやく送れると良い。(会社員・技術系)
- ・もっとスムーズで質の高い音声・画像の通信。(会社員・事務系)
- ・携帯電話にPC並のIMが導入されれば良い。(会社員・事務系)
- ・PCがなくても、携帯等で手軽にそして、安く利用できるようになってほしい。(会社員・事務系)
- ・電話との融合。(自営業)
- ・メッセージの調子が悪いので改善を期待しています。(学生)
- ・不具合がなくなって欲しい。(学生)
- ・ファイルを送るとき中断した場合のレジュウム機能。(公務員)
- ・手書きで文字を伝えることが出来る。(会社員・事務系)
- ・IMに関する知識の普及。(会社員・技術系)
- ・絵文字を増やしてほしい。(パート・アルバイト)
- ・機能がよくわからないので使い方をわかりやすくしてほしい。(学生)
- ・もっと使用人口を増やしてください!(学生)

以上

本資料に記載されている製品名および会社名・団体名は、各社の商標または登録商標です。  
また、記載の会社名および製品名、URLなどは本リリース発表時点のものです。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社Qript 東京支社 Yocto 事業部 / 奥村 朋子

〒113-0024 東京都文京区西片 1-15-15 春日ビジネスセンタービル 9F

TEL: 03-5840-7411 / FAX: 03-5840-7412 e-mail: tomoko\_okumura@qript.co.jp



Beyond Communication.